

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk\_CASBEE-BD\_NC\_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)クレヴィア茨木 新築工事	階数	地上7F
建設地	大阪府茨木市上穂積1丁目198-2,1	構造	RC造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	6地域	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年10月 予定	評価の実施日	2016年2月3日
敷地面積	2,228 m <sup>2</sup>	作成者	都市建 田淵
建築面積	909 m <sup>2</sup>	確認日	2016年2月4日
延床面積	4,782 m <sup>2</sup>	確認者	都市建 鷲田

外観/パース等  
図を貼り付けるときは  
シートの保護を解除してください

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.1** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	184 (kg-CO <sub>2</sub> /年・m <sup>2</sup> )	100%
②建築物の取組み	46	73%
③上記+②以外の	92	73%
④上記+	138	73%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.3

音環境	3.1
温熱環境	2.9
光・視環境	3.1
空気質環境	4.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

機能性	3.2
耐用性	3.0
対応性	2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	2.0
まちなみ	3.0
地域性	3.0

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.2

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.4

建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.8
効率的	3.0

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.0

水資源	3.4
非再生材料の	2.9
汚染物質	3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

地球温暖化	4.0
地域環境	3.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 都市圏のベッドタウンとして、人気のある北摂・茨木。周囲にもファミリーマンションが計画地を囲うように建ち並んでいる。その中で、外観の色調、植栽計画等で周囲に調和しつつも一線を画すデザインとすることで、存在感を發揮し、周辺の街並みに新たな彩りを加える。		0
<b>Q1 室内環境</b> ・遮音性に優れた階床仕様とすることで共同住宅における生活環境の向上を図る ・使用建築材料のほぼ全てをF☆☆☆☆となるよう配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 品確法の劣化等級3を確保した	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 歩道に面する部分や建物外周をできるだけ緑化することにより、周辺環境に潤いを与える計画とした
<b>LR1 エネルギー</b> 省エネルギー対策等級3に相当する対策を行っている。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水型便器等を採用し節水に努めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ゴミの保管施設や駐輪場等を適切に設置している。エコジョーズを採用している。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

# 大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

## 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0103

Osakafu-新築・既存 2015V1.03

<b>【建物概要】</b>	建物名称	(仮称)クレヴィア茨木 新築工事					
	建設地	大阪府茨木市上穂積1丁目198-2,199-1					
	用途/区分	集合住宅					
<b>【評価結果】</b>	CASBEE 総合評価					B+	
	CO2削減					4	
	省エネ対策					3	
	みどり・ヒート アイランド対策					3	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
<b>エネルギー消費量の報告</b>						対象外	

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
省エネルギー対策		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	4.0	4	
② 省エネ対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価	建物全体 3.0 住戸・宿泊 3.0	3
	建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	3.0	
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.8	
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価	3.0	
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価	3.4	
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				